

## 【調査結果の概要】

### 1 概況（従業者4人以上）

平成21年の概況は次のとおりである。

事業所数は、6832事業所で、前年に比べ867事業所（前年比 11.3%）減少した。

従業者数は、19万1635人で、前年に比べ1万8941人（同 9.0%）減少した。

製造品出荷額等は、4兆5691億円で、前年に比べ1兆3899億円（同 23.3%）減少した。

付加価値額は、1兆6331億円で、前年に比べ4983億円（同 23.4%）減少した。

従業者4人以上の製造事業所について集計、分析を行ったものである。

## 2 事業所数（従業員4人以上）

事業所数は6832事業所で、前年に比べ867事業所（前年比 11.3%）減少している。（表 - 1）

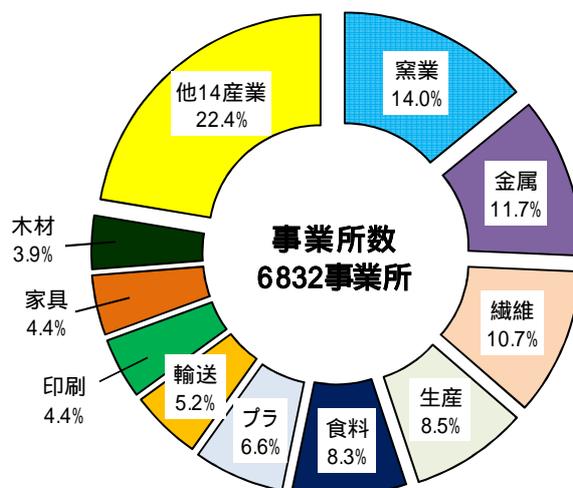
産業別にみると、すべての産業で減少しており、繊維工業（前年比 17.6%）、窯業・土石製品製造業（同 13.4%）、生産用機械器具製造業（同 14.8%）などで事業所数が大きく減少している。（表 - 2）

従業員規模別にみると、4～9人事業所で大きく減少している。（表 - 3）

圏域別にみると、すべての圏域で減少しており、東濃圏域（前年比 13.1%）、岐阜圏域（同 11.9%）、西濃圏域（同 11.4%）、中濃圏域（同 9.7%）、飛騨圏域（同 8.2%）であった。（表 - 4）

産業別に構成をみると、窯業・土石製品製造業が955事業所（構成比 14.0%）と最も多く、次いで金属製品製造業が801事業所（同 11.7%）、繊維工業が734事業所（同 10.7%）となっている。

図 - 1 事業所数の構成（従業員4人以上）



### 3 従業者数（従業者4人以上）

従業者数は19万1635人で、前年に比べ1万8941人（前年比 9.0%）減少している。（表 - 1）

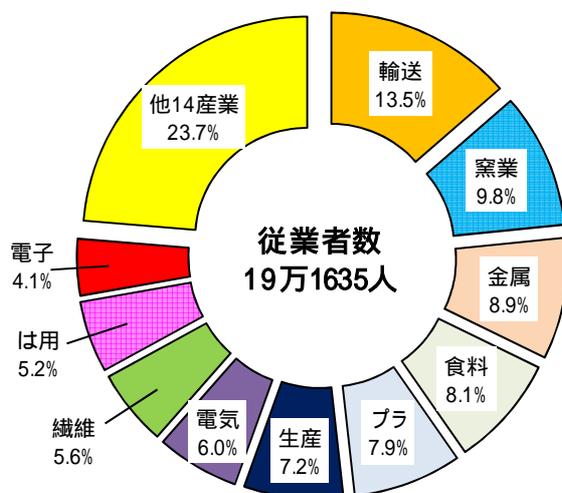
産業別にみると、増加したのは、電気機械器具製造業（前年比2.0%）など3産業である。一方、減少したのは、輸送用機械器具製造業（同 8.3%）、生産用機械器具製造業（同 14.4%）、窯業・土石製品製造業（同 9.4%）など21産業である。（表 - 2）

従業者規模別にみると、500～999人事業所で大きく減少している。（表 - 3）

圏域別にみると、すべての圏域で減少しており、中濃圏域（前年比 10.3%）、西濃圏域（同 9.9%）、東濃圏域（同 8.7%）、岐阜圏域（同 7.7%）、飛騨圏域（同 6.2%）であった。（表 - 4）

産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が2万5961人（構成比13.5%）と最も多く、次いで窯業・土石製品製造業が1万8862人（同9.8%）、金属製品製造業が1万7007人（同8.9%）となっている。

図 - 2 従業者数の構成（従業者4人以上）



#### 4 製造品出荷額等（従業者4人以上）

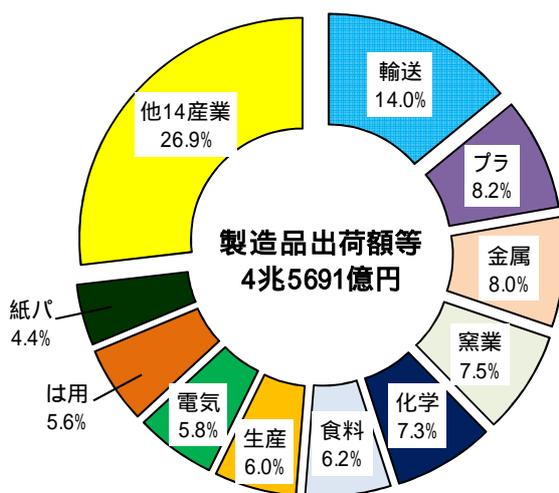
製造品出荷額等は4兆5691億円で、前年に比べ1兆3899億円（前年比 23.3%）減少している。（表 - 1）

産業別にみると、増加したのは、化学工業（前年比7.5%）など3産業である。一方、減少したのは、輸送用機械器具製造業（同 30.4%）、生産用機械器具製造業（同 45.0%）、情報通信機械器具製造業（同 51.6%）など21産業である。（表 - 2）

圏域別にみると、すべての圏域で減少しており、中濃圏域（前年比 29.6%）、西濃圏域（同 23.5%）、東濃圏域（同 20.8%）、飛騨圏域（同 18.1%）、岐阜圏域（同 17.6%）であった。（表 - 4）

産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が6394億円（構成比14.0%）と最も多く、次いでプラスチック製品製造業が3758億円（同8.2%）、金属製品製造業3674億円（同8.0%）となっている。

図 - 3 製造品出荷額等の構成（従業者4人以上）



## 5 付加価値額（従業者4人以上）

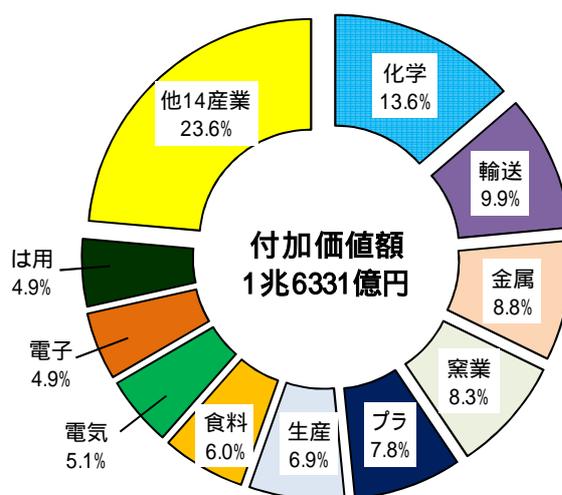
付加価値額（粗付加価値額での集計を含む）は1兆6331億円で、前年に比べ4983億円（前年比 23.4%）減少している。（表 - 1）

産業別にみると、増加したのは、化学工業（前年比 13.1%）など3産業である。一方、減少したのは、輸送用機械器具製造業（同 46.6%）、生産用機械器具製造業（同 44.1%）、はん用機械器具製造業（同 34.2%）など21産業である。（表 - 2）

圏域別にみると、すべての圏域で減少しており、中濃圏域（前年比 29.9%）、西濃圏域（同 24.8%）、岐阜圏域（同 21.0%）、飛騨圏域（同 20.3%）、東濃圏域（同 14.0%）であった。（表 - 4）

産業別に構成をみると、化学工業が2222億円（構成比 13.6%）と最も多く、次いで、輸送用機械器具製造業が1617億円（同 9.9%）、金属製品製造業が1431億円（同 8.8%）となっている。

図 - 4 付加価値額の構成（従業者4人以上）



## 6 圏域別にみた産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

### 【岐阜圏域】

製造品出荷額等は1兆2157億円で、前年に比べ2593億円(前年比 17.6%)減少している。

産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が2769億円(構成比22.8%)と最も多く、次いで化学工業が1977億円(同16.3%)、食料品製造業が905億円(同7.4%)などとなっている。

### 【西濃圏域】

製造品出荷額等は1兆844億円で、前年に比べ3339億円(前年比 23.5%)減少している。

産業別に構成をみると、プラスチック製品製造業が1459億円(構成比13.5%)と最も多く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が1360億円(同12.5%)、窯業・土石製品製造業が1066億円(同9.8%)などとなっている。

### 【中濃圏域】

製造品出荷額等は1兆3275億円で、前年に比べ5586億円(前年比 29.6%)減少している。

産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が1979億円(構成比14.9%)と最も多く、次いで、情報通信機械器具製造業が1628億円(同12.3%)、金属製品製造業1625億円(同12.2%)などとなっている。

### 【東濃圏域】

製造品出荷額等は7106億円で、前年に比べ1870億円(前年比 20.8%)減少している。

産業別に構成をみると、電気機械器具製造業が1401億円(構成比19.7%)と最も多く、次いで窯業・土石製品製造業が1396億円(同19.6%)、パルプ・紙・紙加工品製造業が643億円(同9.0%)などとなっている。

### 【飛騨圏域】

製造品出荷額等は2309億円で、前年に比べ512億円(前年比 18.1%)減少している。

産業別に構成をみると、化学工業が524億円(構成比22.7%)と最も多く、次いで家具・装備品製造業が316億円(同13.7%)、食料品製造業が267億円(同11.5%)などとなっている。

図 - 5 製造品出荷額等の圏域別産業中分類別構成（従業員4人以上）

